

## 本校の「自立活動」について

松山聾学校をはじめとした特別支援学校では、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育を行うとともに、障がいによる学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために、「自立活動」という指導領域が設けられています。

本校の自立活動は「3つの柱と4つの領域」からなります。「日本語の力」「障がい認識」「コミュニケーション」の3つの柱は本校の自立活動の重点目標です。そして、目標を達成するために、聴覚学習、発音発語の学習、言語の学習、障がい理解の学習の4つの領域を学習します。4つの領域は、特別支援学校学習指導要領等に示された自立活動の6つの区分と26の項目から、重点目標を達成するために必要なことを「領域」としてまとめた本校独自のものです。



自立活動の指導を進めるに当たり本校では、全ての教員が学校の教育活動全体を通じて行うこと、教育活動全体を通じて行う指導と時間における指導二つを関連させながら行うことについて共通理解を図っています。

その上で、子供たちの実態やニーズを把握して指導ができるよう、個別の指導計画を作成し、各部ごとに自立活動連絡会を行って、一人一人の実態と配慮事項について確認しています。

今年度も、充実した自立活動の指導を行って参りますので、御理解、御協力をお願いいたします。

## 今年度の本校の特別支援教育コーディネーター

幼稚部：高須賀先生  
小学部：久保先生 佐伯あ先生  
中学部：金並先生  
高等部：石田先生 野口先生

個別の教育支援計画の作成支援や、学校以外の機関との連携に関することについて担当させていただきます。

1年間、よろしく願いいたします。

## 今年度もよろしくお願いたします ～ 平成28年度の主な行事予定です

今年度も、様々な行事を通して、子供同士の交流を深め、地域の方々に松山聾学校のことを知っていただこうと考えています。主なものは次のとおりです。

### 運動会

平成28年 5月28日(土)  
※ 雨天時は体育館で実施します。

### 幼児体験学習・幼稚部説明会

第1回 平成28年 6月15日(水)  
第2回 平成28年10月27日(木)  
※ 聴覚障害のある幼児対象です。教育相談もできます。

### 学校公開

第1回 平成28年 7月 2日(土)  
第2回 平成28年11月 3日(木・文化の日)  
第3回 平成29年 2月 4日(土)  
※ 聴覚障害教育に関心のある方は、どなたでも参加できます。教育相談もできます。

### サマースクール

平成28年 7月29日(金)  
※ 聴覚障害のある幼児から高校生対象です。

### 高等部体験入学

平成28年 9月 9日(金)  
※ 聴覚障害のある中学生対象です。授業体験等があります。

### 文化祭

平成28年10月16日(日)

### ウィンタースクール

平成28年12月下旬(期日未定)  
※ 聴覚障害のある乳幼児対象です。

## 振動式目覚まし時計の貸し出し【再】・・・ 自立・連携課より

みみちゃん66号でお知らせしたように、振動式目覚まし時計を貸し出しています。今回新たに、腕に巻くタイプの「シェイクンウェイク」を購入し、3台になりました。



①



②



③

試してみたい方は、担任の先生を通じて自立・連携課まで御連絡ください。是非使ってみて、購入を御検討ください。

★ 貸出機：① ビッグタイム ② ソニックシェーカ  
③ シェイクンウェイク

★ 貸し出し期間：2週間（続けての貸し出しも可）

## 【4ページの答え】

- ① - サ
- ② - ウ
- ③ - ア
- ④ - カ
- ⑤ - ケ
- ⑥ - オ
- ⑦ - イ
- ⑧ - シ
- ⑨ - ク
- ⑩ - キ
- ⑪ - ス
- ⑫ - エ
- ⑬ - コ

できましたか？

## 昨年度の事業報告です ～ 平成27年度の主な支援事業から

### 教育相談、小・中学校等への訪問支援

教育相談、訪問支援合わせて延べ463件の支援を行いました。昨年比で50件の増加、一昨年からは95件の増加になります。小・中学校等の先生方や保護者の方からのさまざまな支援の求めに応じることができました。

	保育所	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特支学校	その他	合計
教育相談件数	129	90	64	34	2	11	79	409
訪問支援件数	4	3	18	4	2	0	23	54

### 新居浜市聴覚障がい児相談事業への協力

新居浜市こども発達支援センターで行われる教育相談に月1回、教育相談担当者を派遣し、保護者の方に対する聴覚障がいについて相談や、聴覚障がいのある子供への言語指導等を行いました。

### 学校公開

年間3回の学校公開を行い、延べ58名（昨年より26名の増加）の外部の方に、本校の授業を参観していただきました。

### サマースクール・ウインタースクール

サマースクールは、7月末、本校の幼児児童生徒が28名、校外から20名が参加し、各部に分かれて子供同士の交流を楽しみました。

ウインタースクールは、12月末、教育相談の乳幼児5名が参加し、保護者と共に活動を楽しみました。

### 公開講座

夏季休業中に、本校の教員が講師となり、幼稚園、小・中学校等の先生方を対象とした研修会を開催しました。27名の方に参加していただきました。

### 難聴幼児・児童・生徒の担任者会

6月の第2日曜日に本校を会場として開催し、4月に上越教育大学より赴任して来られたばかりの加藤哲則先生（愛媛大学教育学部）に御講演をいただきました。愛媛県難聴児を持つ親の会や愛媛人工内耳装用児の会からも多数の参加をいただき、本校の教員も含めて52名が研修を深めました。

### 松山聾学校ネットワーク会議

第1回目は8月に県下の難聴特別支援学級の担任の先生方にお集まりいただき、研修と情報交換を行いました。第2回目は、聴覚障がいのある乳幼児の療育機関として、本校、愛媛人工内耳リハビリテーションセンター、愛媛県視聴覚福祉センターの3機関の担当で情報交換や連携の確認を行いました。

### 授業交流

小学部で延べ5回実施し、授業を通して交流を深めました。本校の子供たちにとってもよい刺激になったようです。

## 幼稚部保護者講座 の御案内

本校では、幼稚部や教育相談の保護者の方に対する支援の一つとして保護者講座を開講しています。この講座は、元々はPTAによる手話学習会から始まったもので、今年度も、本校教員を講師として手話を始めとしたコミュニケーション方法について理解を深めたり、聴覚障がいや進路に関連した様々な情報提供を行ったりする予定です。

幼稚部の保護者の方が中心になりますが、他の部の保護者の方も歓迎です。興味ある内容がありましたら、是非、御参加ください。

年度初めです。補聴器や人工内耳のメンテナンスを！

皆さんは、補聴器や人工内耳の「部位」の名称を、どれぐらい御存じでしょうか。本校では、小学部高学年からこれらについて自立活動の授業で勉強しています。日々のメンテナンスとともに、是非、「部位」の名称も覚えてください。不具合や故障の状態をスムーズに伝えたり理解したりすることができますよ。では問題です。写真の①から⑬までの名称、分かりますか？



最近は防水や防沫機能に優れた補聴器や人工内耳が多く、故障の件数も以前に比べ少なくなりました。しかし、汗や結露に伴ってできた水滴は、⑦や⑨から進入する場合があります。進入しても、すぐに故障する訳ではありませんが、

長期間使っていると、水分の進入を防ぐ機能が劣化し、故障する場合があります。また、⑤と⑥が接触する部分、⑨、⑫等の電池を入れる部分やケーブルの接続部で金属部が出ているところは、さびやすいので要注意です。

故障を防止するためには、使用後、乾燥ケースに入れることが一番の対策です。ケース内のシリカゲルは、古くなっていませんか？

【分かりますか？】

- ア 送信コイル
- イ レシーバー(スピーカー)
- ウ ジョイント
- エ 接続コネクタ
- オ バッテリーユニット(充電電池)
- カ 送信ケーブル
- キ マイクロホン
- ク 電池ホルダー
- ケ サウンドプロセッサ
- コ ボリュームコントロール
- サ チューブ
- シ フック(イヤフック)
- ス プログラムスイッチ



補聴器や人工内耳については、みみちゃん43号や54号でも取り上げていますので、御覧ください(ホームページから見ることができます)。

[この問題の答えは、2ページにあります。]

編集後記

新学期がスタートしました。みみちゃん第67号をお届けいたします。今年度も、松山聾学校の取組や聴覚障がいに関する情報を、今まで以上に積極的に発信していきたいと思っております。1年間よろしくお願いたします。